



# 安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.48

令和4年10月28日

文責：校長 伊藤 孝行

## 赤い羽根共同募金を行いました。

共同募金は、戦後間もない昭和 22 (1947) 年に、市民が主体の民間運動として始まりました。

当初は、戦後復興の一助として被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。



児童会のボランティア委員会では、共同募金の趣旨を受け、今年も赤い羽根共同募金を行い、多くの募金をいただきました。

## 2年生「ムシテックワールド」見学学習

25日（火）2年生では生活科の時間を利用して、須賀川市にあるムシテックワールドに出かけ学習してきました。



学校だけではできない学習を校外で実施することとはとても有意義です。

## 30日（日）は福島県知事選挙投票日です。

10月30日（日）は福島県知事選挙の投票日

となっています。今回の知事選には、現職の内堀雅雄氏（58歳）と新人の草野芳明氏（66歳）の二人が立候補しています。



内堀雅雄氏（58歳）



草野芳明氏（66歳）

以前にも述べましたが、6年生の子どもたちは6年後には選挙権が与えられます。

この機会に約 180 万人の県民をリードする福島県知事の仕事を学ぶ機会としたいと思います。

### ① 知事の仕事とは？

福島県の政治をリードする「政治家」でありながら、「福島県の経営者」や「福島県のセールスマン」でもあります。

経営者としては、1兆2000億円の福島県の予算の編成と執行があります。限りある予算を使って福島県をよくするため効率よく仕事を進めることが求められます。次に、知事部局で働く5400人のトップとして、採用、昇任、配置換えなどの人事に関する仕事もしています。

特別職のため勤務時間の規定はなく、災害発生時は徹夜をしたり、土日でもイベントに出席したりと大変な激務となっています。報酬は年1958万円（2021年）です。

### ② 国とのパイプ役としての福島県知事

福島県は、東日本大震災・原発事故で大きな被害を受けました。福島第一原発からは、未だ汚染水が流出し続けていたり、故郷に帰ることができない人が大勢いたりします。

福島県の予算や力だけでは解決できない課題に対し、国に支援策や予算を要求することも知事の大切な仕事です。

福島県知事選挙は、今後4年間の福島県のリーダーを選ぶ大切な選挙となります。保護者の皆様が投票する姿をぜひ子どもたちに見せて主権者教育を行っていただきたいと思います。